

市場で注目株の野菜【ターツァイ】

～中国の代表的な冬野菜～

中国野菜が日本でブームになったのは、昭和 50 年台前半でした。最も一般化されたものはチンゲンサイです。現在は中国野菜というより一般野菜として消費されています。ブームの中でターツァイ（塌菜）も脚光を浴びた時期がありました。



原産地は中国です。ハクサイの仲間であブラナ科。日本ではキサラギ菜（如月菜）とも言うそうです。中国では冬季の代表的野菜の一つです。「塌」は中国で平たいとか地面をほうという意味があるそうです。

現在は、長野県、静岡県が代表的な産地です。特徴は、冬期の寒さにあたると甘みが出て、葉の色が濃緑色になります。

写真は、中国野菜がブームになったときから栽培している千葉県内の産地のものです。出荷時期は 12～2 月です。

（ 金澤 誠 筆）